

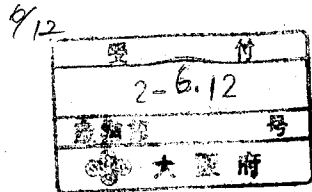
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2020年 6月1日

大阪府知事 殿



提出者

住 所 大阪市浪速区難波中1-13-8

氏 名 株式会社シマ
代表取締役社長 高山 雅和

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6634-3111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

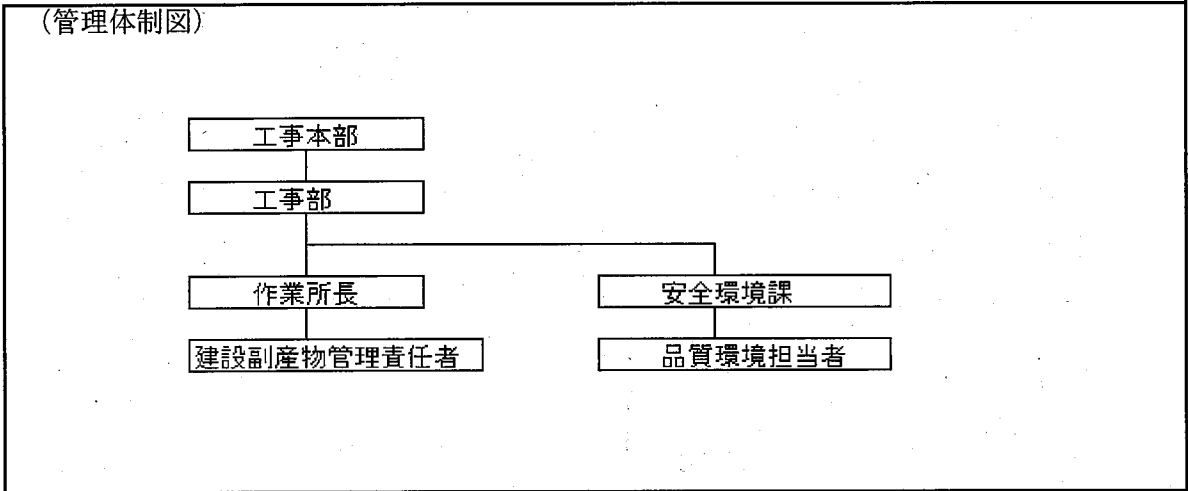
事業場の名称	株式会社シマ
事業場の所在地	大阪市浪速区難波中1-13-8
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	完成工事売上高 52億
③従業員数	90人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[産廃発生] --> B[保管] B --> C[収集] C --> D[中間処理] D --> E[最終処分] D --> F[再生利用] </pre>

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】 別紙集計用シート（前年度）の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・年度ごとに設定する社内の環境目的・目標に基づき、各作業所で目的・目標を設定		
②計画	【目標】 別紙集計用シート（今年度目標）の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・各作業所の廃棄物処理計画と実施を評価し、水平展開を図る。 ・混合廃棄物の分別により更なる減量化を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃プラ、金属くず、廃石膏ボード、コンクリート片、ダンボール、木くず等のうち4種類以上の分別に努めている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・更なる分別化を図って混合廃棄物の発生量の割合を減少させ、リサイクル率を高める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（令和元年度）実績】 別紙集計用シート（前年度）の通り	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	（これまでに実施した取組） ・自ら産業廃棄物の再生利用は行っていない。	
②計画	【目標】 別紙集計用シート（今年度目標）の通り	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（令和元年度）実績】 別紙集計用シート（前年度）の通り	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
（これまでに実施した取組） ・自ら産業廃棄物の中間処理は行っていない。		
②計画	【目標】 別紙集計用シート（今年度目標）の通り	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（令和元年度）実績】 別紙集計用シート（前年度）の通り	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	（これまでに実施した取組） ・自ら産業廃棄物の埋め立て処分、海洋投入処分は行っていない。	
②計画	【目標】 別紙集計用シート（今年度目標）の通り	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定無し。	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（令和元年度）実績】 別紙集計用シート（前年度）の通り	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	（これまでに実施した取組） ・電子マニフェスト普及率100%達成を目指すことにより、廃棄物の適正処理状況の確認が向上。 ・再生利用が出来る業者と委託契約を締結している。	

②計画	【目標】 別紙集計用シート（今年度目標）の通り	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用が出来る業者を継続して選定し、委託契約を行う。 ・電子マニフェスト普及率100%。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

前 年 度 【 令 和 元 年 度 】 実 績

社 名	株式会社	出 社 者	出 社 者 名	出 社 者 氏 名	出 社 者 職 名	出 社 者 職 名	出 社 者 職 名	出 社 者 職 名	出 社 者 職 名
社 址	〒111-0001 東京都台東区東上野1-13-8	社 址	〒111-0001 東京都台東区東上野1-13-8	社 址	〒111-0001 東京都台東区東上野1-13-8	社 址	〒111-0001 東京都台東区東上野1-13-8	社 址	〒111-0001 東京都台東区東上野1-13-8
電 話 番 号		電 話 番 号		電 話 番 号		電 話 番 号		電 話 番 号	
FAX 番 号		FAX 番 号		FAX 番 号		FAX 番 号		FAX 番 号	
電 子 メール アドレス		電 子 メール アドレス		電 子 メール アドレス		電 子 メール アドレス		電 子 メール アドレス	

品 名 別	計									
	①排出量 (0)	②自己処理 発生利用した量 (0)	③自己処理 処分又は再資源 化された量 (0)	④自己処理 したもののうち 再資源化を行った量 (0)	⑤自己処理 したもののうち 再資源化を行って いないもののうち 再資源化された量 (0)	⑥自己処理 したもののうち 再資源化を行って いないもののうち 再資源化されな かった量 (0)	⑦自己処理 したもののうち 再資源化を行って いないもののうち 再資源化されな かった量 (0)	⑧自己処理 したもののうち 再資源化を行って いないもののうち 再資源化されな かった量 (0)	⑨自己処理 したもののうち 再資源化を行って いないもののうち 再資源化されな かった量 (0)	⑩自己処理 したもののうち 再資源化を行って いないもののうち 再資源化されな かった量 (0)
1 221 汚泥	4,399									
2 800 プラスチック類	22									
3 810 木くず	685									
4 811 伐採材・伐根材	145									
5 1021 コークリートくず	9									
6 1501 コンクリート破片	1,848									
7 1502 アスコン破片	872									
8 2000 雑炭混合廃棄物	51									
9 2100 空型煉炭混合 廃棄物	1									
10 2200 管理型混合廃棄 物	143									
11 2400 廣石綿等	25									
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
合計	8,200	0	0	0	0	0	0	0	8,200	0

(注)1)トン単位は原則として四捨五入、ただし、数字が有効である場合は小数点以下5桁まで記載は可。

